



国分寺地域支部 会報第31号

天平の甍 千三百年前に思いを馳せて

第16回歴史探訪～ハケと湧水と史跡の町国分寺散策～

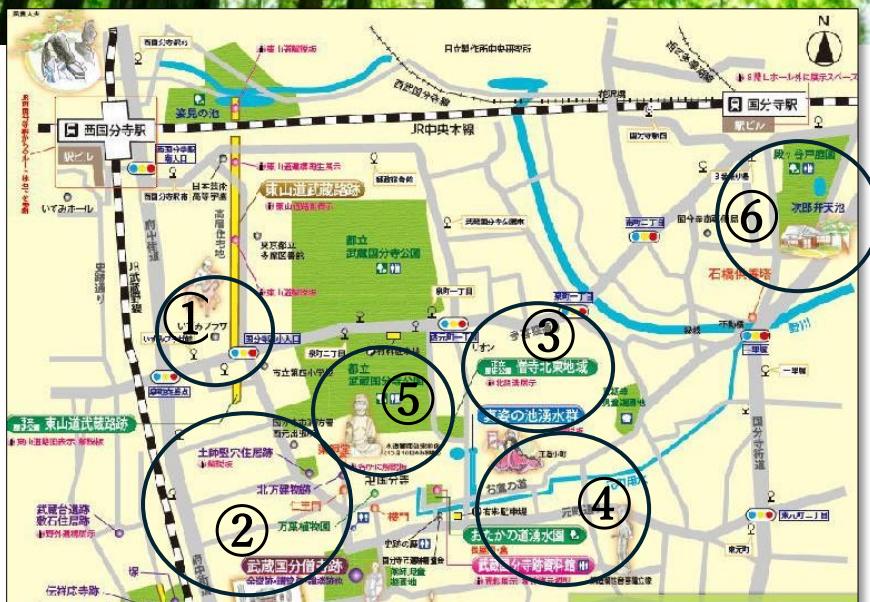


□この「歴史探訪」は、「国分寺地域支部創立5周年記念事業」として、2012年11月に第1回が始まりました。それから、コロナ禍で中止になった年もあったが、14年間ほぼ毎年活動を行い、今回でご参加頂いた総人数は、340名を数えます。訪れた場所も、国分寺市以外に、府中市・小平市・国立市・東村山市・昭島市・清瀬市など広く多摩地域にウォーキングの範囲を広げ、それぞれの地域の歴史に触れるとともに、各地域支部の皆様との交流を深めることができ、今や多摩支部における素晴らしい活動の場になっていると思います。

□今回は、10月10日（金）午前9時、JR中央線西国分寺駅改札口前に、多摩支部の7地域支部（清瀬・国立・国分寺・小平・立川・日野・三鷹）21名の皆様が集合。移動は、国分寺市コミュニティバス「ぶんバス」を活用し散策を行いました。

□散策場所は、東山道武蔵路跡、武蔵国分寺跡、武蔵国分寺跡資料館を経て、この日一日だけの御開帳の秘仏「薬師如来坐像」を参拝（なお、「秘仏」の参拝は、余りにも多くの方々が順番待ちをしており、残念ながら「薬師堂」内には、入ることが出来ませんでした。）。

「ぶんバス」に乗って、国分寺駅前の国指定名勝「殿ヶ谷戸庭園」へ。散策後、園内の茶室「紅葉亭」で昼食を召し上がって頂きました。昼食後、国分寺駅ビルの居酒屋で、喉を潤し、大いに盛り上り、散会しました。



今回散策しました場所を、次の頁で写真と説明文で、ご案内いたします。千三百年前に思いを馳せて、武蔵国分寺跡を散策しませんか。

- ① 東山道武蔵路跡と国分寺市役所
- ② 国指定史跡 武蔵国分寺跡
(僧寺金堂、七重塔跡等)
- ③ 都指定史跡 真姿の池湧水群
- ④ 武蔵国分寺跡資料館・お鷹の道湧水園
- ⑤ 国分寺薬師堂
国指定重要文化財・薬師如来坐像
- ⑥ 国指定名勝 殿ヶ谷戸庭園・紅葉亭

①国指定史跡 東山道武藏路跡と国分寺市役所

古代の律令国家は、都から地方に直線的に伸びる官道の整備を進めました。武藏国は、当初「東山道」に属し、本線が通る上野国から武藏国府に至る道を「東山道武藏路」と呼んでいます。2025年1月に移転した「国分寺市役所新庁舎」西側に広がる歩道はその一部です。2010年、東山道武藏路は国指定史跡になった。



②国指定史跡 武藏国分寺跡（僧寺金堂・七重塔跡等）



聖天皇は鎮護国家を祈念し、諸国に国分寺（僧寺）と尼寺の建立を命じた。武藏国では国府に近く、東山道沿いの広大な平地と国分寺崖線の麓、豊かな湧水をもつ現在の地が選ばれた。諸国の国分寺跡と比べ規模が大きく、歴史的にも重要なことから大正11年（1922年）に国史跡に指定された。



③都指定史跡「真姿の池湧水群」

848年、絶世の美女・玉造小町が重い病気に苦しめられ、國分寺の薬師如来に祈ると、童子が現れ、池の水で身を清める様に言いました。身体を洗うとたちまち病気が治癒し、元の美しい姿に戻ったという伝承から、この池を「真姿の池」と呼ぶようになった。この真姿の池湧水群などの國分寺市内の湧水は、野川の源流です。



④武藏国分寺跡資料館・お鷹の道湧水園

武藏国分寺跡資料館は、長年の発掘調査の成果をもとに、主に史跡から出土した資料や武藏国分寺跡に関する映像、実際に瓦に触れて体験するコーナーもある。また、お鷹の道沿いにあり、國分寺崖線の豊かな自然を残す園内では、湧水源を観察でき、季節の草木を楽しめます。



⑤国分寺薬師堂・国指定重要文化財「薬師如来坐像」

（国分寺薬師堂）

國分寺境内にあり、1335年に新田義貞の寄進により、僧寺金堂跡付近に建立されたものが、1756年頃に現在の場所に建て替えられた。堂内には、重要文化財の「木造薬師如来坐像」が安置されている。また薬師堂の裏には四国八十八ヶ所巡り石仏群がある。

（木造薬師如来坐像）

彫眼、漆箔が施された寄木造による半丈六（高さ約1.91m）の像で、平安時代末頃の作と言われている。江戸時代には、ほぼ33年に1回開帳を行い多くの信者を集めた。現在は、毎年10月10日に開帳が行われている。



⑥国指定名勝「殿ヶ谷戸庭園」・紅葉亭（茶室）

殿ヶ谷戸庭園は、國分寺崖線という段丘崖とその下端部から浸出する湧水を利用し雑木林の風致を生かした近代の別荘庭園です。その歴史は、南満州鉄道副総裁から貴族院議員にもなった江口定篤が、1913年～1915年にこの地に別荘を構えた。1929年三菱合資会社取締役の岩崎彌彌太が江口家から別荘を買取り、1934年に和洋折衷の木造主屋に建て替え、庭園建築として「紅葉亭」を新築するとともに、回遊式庭園を完成させた。昭和40年代の周辺の開発計画に対し本庭園を守る住民運動が発端となり、1974年に東京都が買収した。2011年9月には、殿ヶ谷戸庭園（隨宜園）が「国指定名勝」に選定された。



第18回明治大学校友会国分寺地域支部定時総会・懇親会



明治はひとつ

マンドリン演奏と明大校歌の斉唱のなかで



「第18回明治大学校友会国分寺地域支部定時総会・懇親会は、5月18日（日）、国分寺駅前 Cocobunji WEST 5階「リオンホール」で開催されました。会員の皆様と来賓の方々を入れまして、総勢41名の大勢の皆様にご出席いただきました。

「会員総会」は、豊山富美子幹事の司会、芦田隼人幹事の議長により議事が進められ、4議案全ての議案が承認されました。引き続き行われた「懇親会」は、望月啓介監査委員の司会で進められました。来賓を代表しまして、土井隆夫多摩支部総務委員長からのご挨拶、福島啓充さんの「乾杯のご発声」により、懇談に移りました。「エキシビション」は、明治大学マンドリンOB俱楽部の4名のメンバーによる懐かしい名曲をお聴きいただきました。

その後、恒例の「抽選会」が納谷菊夫幹事の司会により行われ、内藤達也幹事による「閉会の辞」、締めは、徳田隆洋幹事のエール、望月啓介さんの太鼓で「校歌の斉唱」を。和やかな雰囲気のなか、会員の皆さんとの親睦を深められた楽しい一日でした。

今回、ご参加出来なかった皆さんにおかれましては、来年の第19回国分寺地域支部定時総会・懇親会は、5月2日（土）、今回と同じCocobunji WEST 5階「リオンホール」で開催致しますので、是非足を運んでくださるようお願い申し上げます。



国分寺地域支部長：高久みどり



受付



第53回
明治大学 Meiji
マンドリン俱楽部
立川演奏会

司会：豊山富美子幹事



議長：芦田隼人幹事

今回の総会で、新たにご入会いただいた皆さん（5名）



三浦久（51・文）
東元町



伊藤昌司（56・農）
日吉町



和地良房（61・商）
高木町



高橋一博（63・商）
戸倉



苔口ひろ子（63・文）
西町



司会：望月啓介監査委員



明治大学マンドリンOB倶楽部

マンドリン：吉村多佳夫様（43・法）

マンドラ：三田和夫様（45・文）

ギター：豊永勝義様（51・政経）

エレキベース：秋山隆敬様（43・法）



校歌齊唱



乾杯のご発声：福島啓充



エール：徳田隆洋幹事



閉会の辞：内藤達也幹事



国会議事堂の見学に行って 来ました。



国分寺地域支部では、去る8月7日(木)、今年度の企画活動として、「国会議事堂見学会」を実施しました。

ご参加いただいた皆さんの中には、小学生の時に社会科見学の一環として、国会議事堂の見学をされたことと思います。

今回は、「大人の社会科見学会」ということで、衆議院議員の現役秘書である国分寺地域支部会員の岸八州男様のご案内で、午前11時30分から午後3時まで、長時間にわたり、国会議事堂内の隅々まで見学をさせていただきました。国会が閉会中ということもあり、普段一般の見学者が入れない場所も岸様のご配慮で見学することができました。(写真撮影などは不可)

当日は、衆議院第二議員会館の「議員事務室」で、岸様から、詳細な見学行程の説明を受け、見学がスタートしました。

まず向かったのは、衆議院第二議員会館の最上階12階です。そこからは、眼下に高さ20m(中央塔は65m)の国会議事堂や霞ヶ関の官庁街が一望できます。特に、昭和11年(1936年)竣工の国会議事堂は、長い年月を経た現在でも凛とした美しい建物でした。

次に向かったのは、約4kmに亘り敷き詰められた赤絨毯の議事堂内に足を踏み入れました。

衆議院議院運営委員会が行われる「議長応接室」や「御休息所」、「中央玄関」、伊藤博文、板垣退助、大隈重信の銅像が三方に立っている2階の「中央広間」などを見学。

午後1時、少し遅めの昼食です。一般の方は特別通行書がなければ利用できない「議員食堂」(衆議院本館2階)での食事です。多くのメニューがありました。やはり、人気は名物のカレーでした。

昼食後、見学を再開。まず、「衆議院議場」へ。議場は、重厚で、厳肅な雰囲気を感じさせていました。議員の議席は、建築当初のサイズなのか少々窮屈な感じでした。次に、衆議院予算委員会が開かれる「第一議員室」。閉会中で、人気もなく、静寂な会議室でしたが、どこからか議論の喧騒が聞こえてくる感じでした。

恒例の記念写真は、外の衆議院玄関付近で撮りました。最後に、国会議事堂の名物土産物店「思い出屋」で見学の記念にお土産をゲット。

本日の「国会議事堂見学会」は終了しました。3時間30分、長丁場に亘る見学会でしたが、丁寧な説明、加えて、「議長応接室」や「第一議員室」などの見学、そして、「議員食堂」での昼食などなど、多大なご尽力を頂きまして、岸様には深く感謝申し上げます。

(記・写真:佐々木一郎。なお、写真の一部は、国会のパンフレットを使用。)



元国分寺地域支部長 西山 強氏を偲ぶ

はじめに、去る6月30日（月）享年87歳でご逝去された元国分寺地域支部長 西山 強氏の生前のご厚誼を深く感謝し、ご冥福を心からお祈り致します。

西山氏は、国分寺地域支部設立にあたり、当初より重要な任務を受けられ、第2代国分寺地域支部長として、2009年から2014年まで、6年間にわたり多大な貢献をされました。また、上部団体である多摩支部の幹事長、支部長も務め、21地域支部を包括する日本一の規模を誇る多摩支部の発展と継承に大きく寄与されました。

私が、西山さんに初めてお会いしたのが、第2回国分寺地域支部の定時総会の時でした。西山さんは、日頃から支部組織の拡大に意欲的で、そのために、独自の事業の充実と、併せて若手会員と女性会員への積極的なアプローチの必要性を強調しておりました。

餅つき大会、歴史探訪、演芸鑑賞会、麻雀、六大学野球やラクビーの応援観戦、更には、東京湾サンセットパーティークルーズなど、数多くの支部企画事業でご一緒に楽しんだことを懐かしく思い出しております。

西山さんのいつもの笑顔そして穏やかな声を忘れることが出来ません。
余談ですが、私も本年9月で90歳（卒寿）になりました。自分の余生もカウントダウンする時が近づいてきたように感じます。遠からず西山さんに会えることになります。 合掌

2025年11月20日 堀田 清則

【訃報】

内川雄一郎 様 (54・政経) 3月16日 ご逝去
町田 定男 様 (35・工) 5月6日 ご逝去
清水 浩昭 様 (41・政経) 5月14日 ご逝去
西山 強 様 (36・工) 6月30日 ご逝去
平 亮 様 (42・商) 9月25日 ご逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

国分寺地域支部からのお知らせ

国分寺地域支部の「第19回 国分寺地域支部定時総会・懇親会」及び「2026年国分寺地域支部 新年会」の開催日程、開催場所などが決まりましたので、お知らせいたします。

□第19回 国分寺地域支部定時総会・懇親会

- ①開催日時：2026年5月2日（土）13時30分～
- ②開催場所：cocobunji WEST 5階「リオンホール」A&Bホール

□2026年 国分寺地域支部「新年会」

- ①開催日時：2026年1月24日（土）12時～14時（受付：11時30分）

- ②開催場所：「北海道」国分寺駅南口駅前店

国分寺市南町3-9-15 国分寺ステップ4階（マルエツの上）

- ③会費：5,000円（飲み放題付）

なお、新年会の詳細な案内状は、本日お送りしました「会報第31号」と一緒に同封いたしましたので、ご覧ください。また、同封いたしました新年会用の「返信はがき」は、12月27日（土）までご投函をお願い致します。

多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。